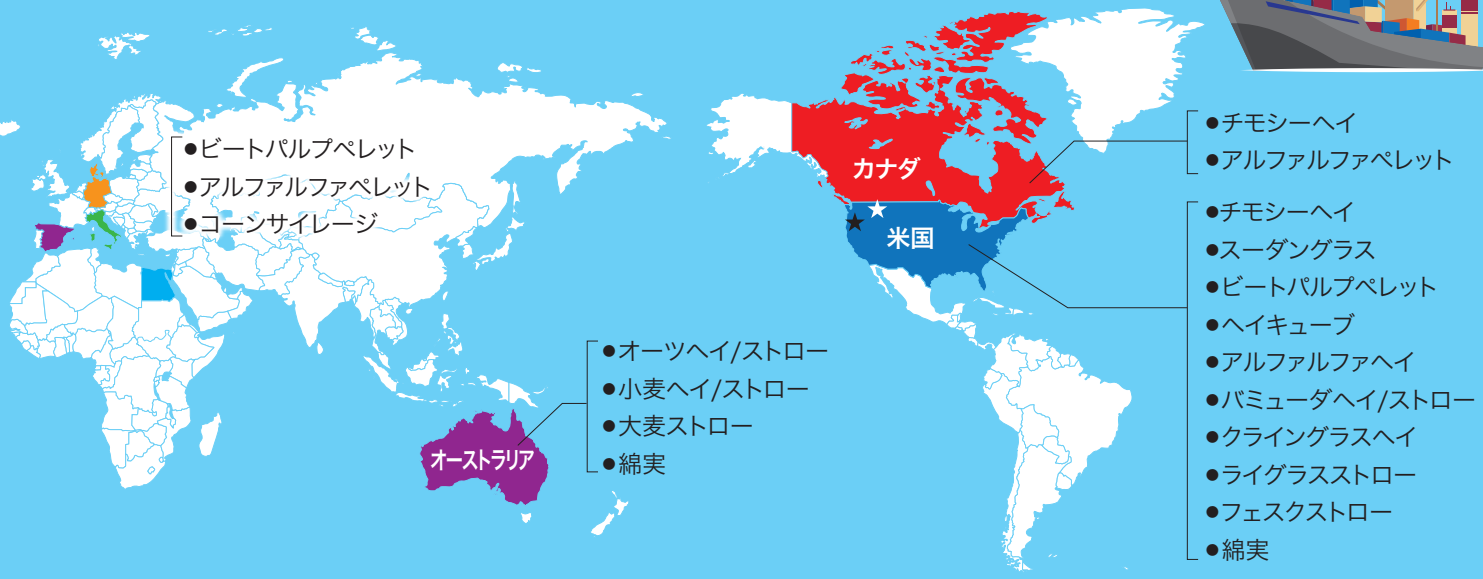




チモシー圃場



代表的な1 番刈チモシーヘイ



全農畜産生産部 単味・粗飼料課／全農ヘイ株式会社

粗飼料事業の サプライチェーンについて

Farm to Farm リレーシッピングの構築

J A全農グループでは、穀物輸入と並び粗飼料の長期的で安定的な供給に努めています。そこで、粗飼料事業を推進するための粗飼料供給網と、今年度の粗飼料情勢をご紹介します。



粗飼料供給網と新たな取り組み

J A全農の粗飼料事業は、製造・供給元となる全農ヘイ(株)の運営、20社を超える海外取引先を通じて、安全で安定的な供給体制の維持・構築を図り、産地生産者から日本の生産者までの要望に応える供給網(Farm to Farmのサプライチェーン)の構築に努めています。

海外からの輸入粗飼料を取り扱う上では、特に以下のような留意点や課題が存在します。

- ① **安全性の確認**
残留農薬、重金属、異物混入リスク、他
- ② **品質の安定性に対する評価**
嗜好性、荷姿、他



各乾牧草の産地情勢

① アルファルファヘイ

主産地ワシントン州コロンビア盆地では、1番刈が収穫時の降雨により良品は限定的です。一方で2〜4番刈は天候に恵まれ良品を中心に収穫されました。全農ヘイ社では、今シーズンから全てのスタックにDairy One分析を実施し、u N D F等の繊維消化性を評価できる体制を構築し、品質が安定したアルファルファヘイの確保ができました。

② チモシーヘイ

主産地であるワシントン州エレンズバーク及びコロンビア盆地では、1番刈が降雨被害を受け、良品は限定的です。今年の価格傾向は、下草が混入したもの、降雨を避けて刈り遅れたものが多数発生したため、上位グレードは高騰している一方、中位〜下位品は値ごろ感のある価格帯に推移しています。全農ヘイ社では、これら中位品を若刈品で集荷できており、今年はこれらのグレードが供



2 番刈アルファルファヘイ



スーダン圃場



スーダン保管場所



オーツ圃場

- ③ **供給の安定性に対する評価**
生産量、加工許容量、物流、他
- ④ **経済合理性に対する評価**
価格、取引にかかる諸条件、他
- ⑤ **法定伝染病に対する評価**
生産地での発生有無、混入リスク、他

これらの留意点や課題の詳細を踏まえ、機能的粗飼料の研究・輸入の取り組みや、小麦ストローキューブを使用した完全配合飼料を開発する事で、労務軽減の実現、作業効率化を図る取り組みを進めています。

また近年、輸入発酵飼料(デントコーンサイレージ)の要望が高まっていることから、全農では欧州からの輸入取り扱いを開始しています。

③ スーダングラス

カリフォルニア州インペリアルバレーが主産地ですが、1番刈の作付面積は前年対比微減でした。一方で、2番刈は野菜といった他作物への転換が例年以上に多く、作付面積は減少しています。今年の品質傾向は、「下草の混入が多く見られるものが多い事」「色抜け品が少ない事」が挙げられます。よって、色抜け品など「こだわり品質」は早めの手配が必要な状況といえます。

④ ライグラス・フェスクストロー

主産地オレゴン州ウィラメットバレーにおいて収穫は終盤を迎えております。今年は天候に恵まれ雨あたりも見られず良品が収穫されています。色抜け具合は、例年よりも緑が残っている事が今シーズンの特徴といえます。

⑤ オーツヘイ

豪州では降雨があり、順調に生育が進んでいます。土壌水分も十分で、収穫時期の天候に恵まれば、例年以上の作柄が期待されます。